

世界に広がる日本の遺産－漢方

日本東洋医学学会副会長
大野クリニック院長
大野修嗣



2019年5月22日

ICD-11に伝統医学の章が設けられる

- 国際疾病分類(ICD)とはWHOが作成する国際的に統一した基準で定められた死因及び疾病の分類
- 本年5月に世界保健総会で「第26章 伝統医学の病態－モジュール I 」として承認される見込み



東アジアの伝統医学 ＊ナウ＊

- ◎ 日本：漢方　＝西洋医が漢方薬を処方する
- ◎ 中国：中医学＝西洋医と中医師の資格がある
- ◎ 韓国：韓医　＝西洋医と韓医師の資格がある
西洋医は韓国医薬を処方できない

＊ 医師が正式に漢方を処方できるのは ＊

＊ 日本だけ ＊

国際東洋医学会理事

幹事国：日本・韓国・台湾



第18回国際東洋医学会学術大会

わが国での開催は5度目

参加者:587名

日本, 韓国, 台湾, 中国, 米国, スペイン
ロシア, オーストラリア, スイス, オーストリア
ドイツ, ベトナム

講演者

ドイツ: Dr. Klaus Hambrecht

オーストリア: Dr. Bernd Kostner

スイス: Prof. Dr. med. Claudia Witt

スペイン: Dr. Ulrich Eberhard

台湾: Dr. Ching-Chiung Wang

韓国: Pro. Soon Shik Shin

中国: Dr. Xijiun Wang

米国: Dr. Gary Deng (Sloan-Kettering Cancer Center)

会頭講演

日本: Shuji Ohno



第5回日本漢方国際シンポジウム

5th International Symposium for Japanese Kampo Medicine (ISJKM)

於:ドイツのHan Münden



木組みの家の田舎町



何故，今，世界が注目する！

- 西洋医学では治療できない病気がある
こむら返り 痙攣性便秘 フレイルなど
- 漢方医学の方が上手く治療できる
更年期障害 二日酔い 感染性胃腸炎など
- 西洋薬と漢方薬の併用には一部を除いて問題なく、
それぞれの効果で治療が完結する
帯状疱疹 膠原病 花粉症 癌など

危ない頭痛！

こんな頭痛があったらすぐ医療機関へ

- ① 突然の頭痛
- ② 今まで経験したことのない頭痛
- ③ いつもと様子の異なる頭痛
- ④ 頻度と程度が増していく頭痛
- ⑤ 50歳以降に初発の頭痛
- ⑥ 神経脱落症状を有する頭痛
- ⑦ 癌や免疫不全の病態を有する患者の頭痛
- ⑧ 発熱・項部硬直症状を有する頭痛

頭痛の種類

➤ 片頭痛 緊張型頭痛 群発頭痛 薬物乱用頭痛

= **一次性頭痛**: ほかに原因の無い頭痛

➤ 頭頸部外傷

➤ 頭蓋内の疾患 (くも膜下出血 脳腫瘍 など)

➤ ウイルスや細菌の感染 (風邪や帯状疱疹)

➤ その他 (更年期傷害 精神疾患 顔面・頭蓋の構成組織の障害)

= **二次性頭痛**: 明らかな原因のある頭痛

頭痛

一時性頭痛

緊張型：身体的ストレス 精神的ストレス

片頭痛：光刺激 緊張後 1割に前兆脳血管攣縮

セロトニン説、三叉神経血管説

群発頭痛：1～3年に数回、一定期間に集中する

頭部の血管拡張説 イミグランと純酸素吸入

二次性頭痛

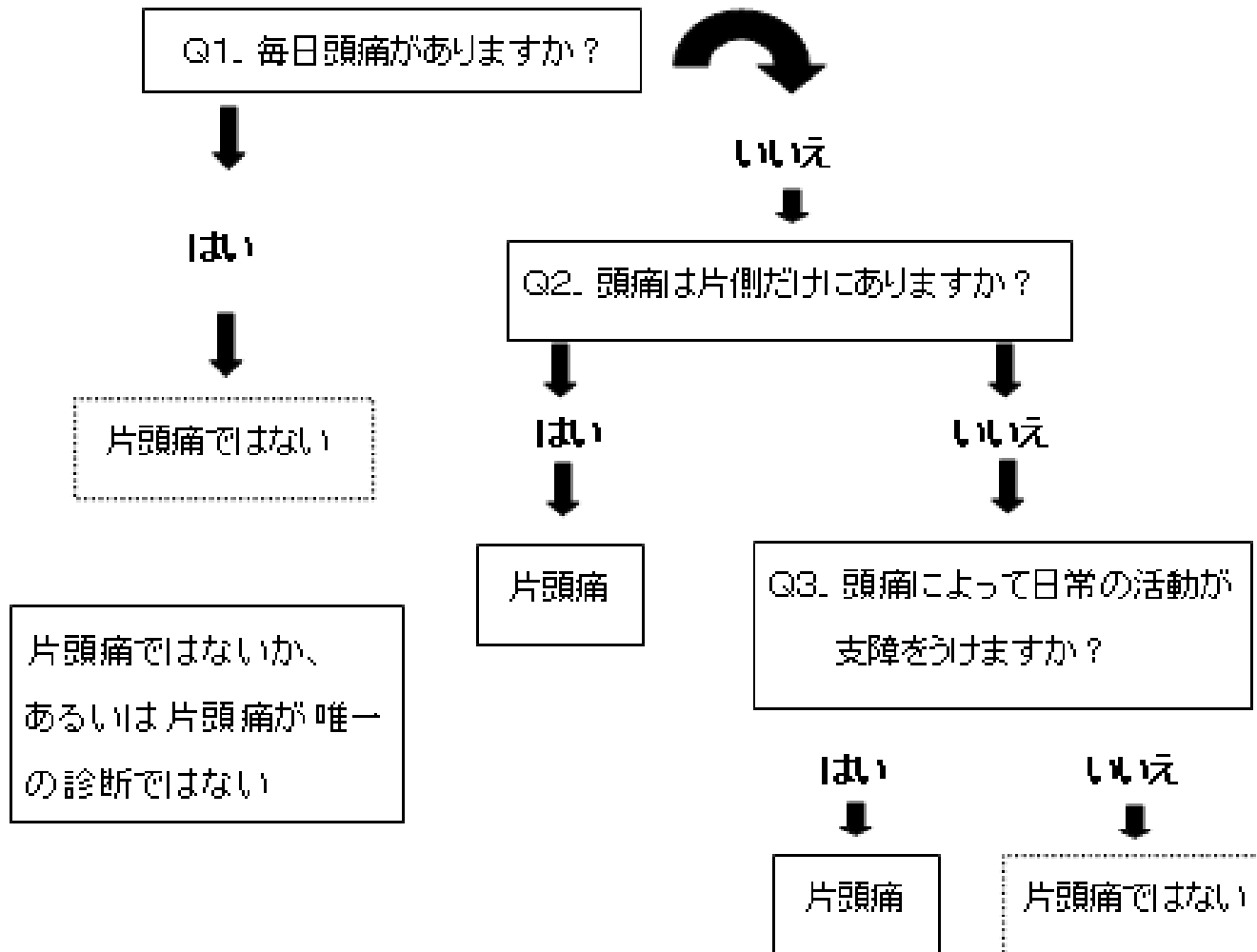
頭頸部血管障害 非血管性頭蓋内疾患 膠原病

食品（チョコ・赤ワイン・チーズ・グルタミン酸・亜硝酸）

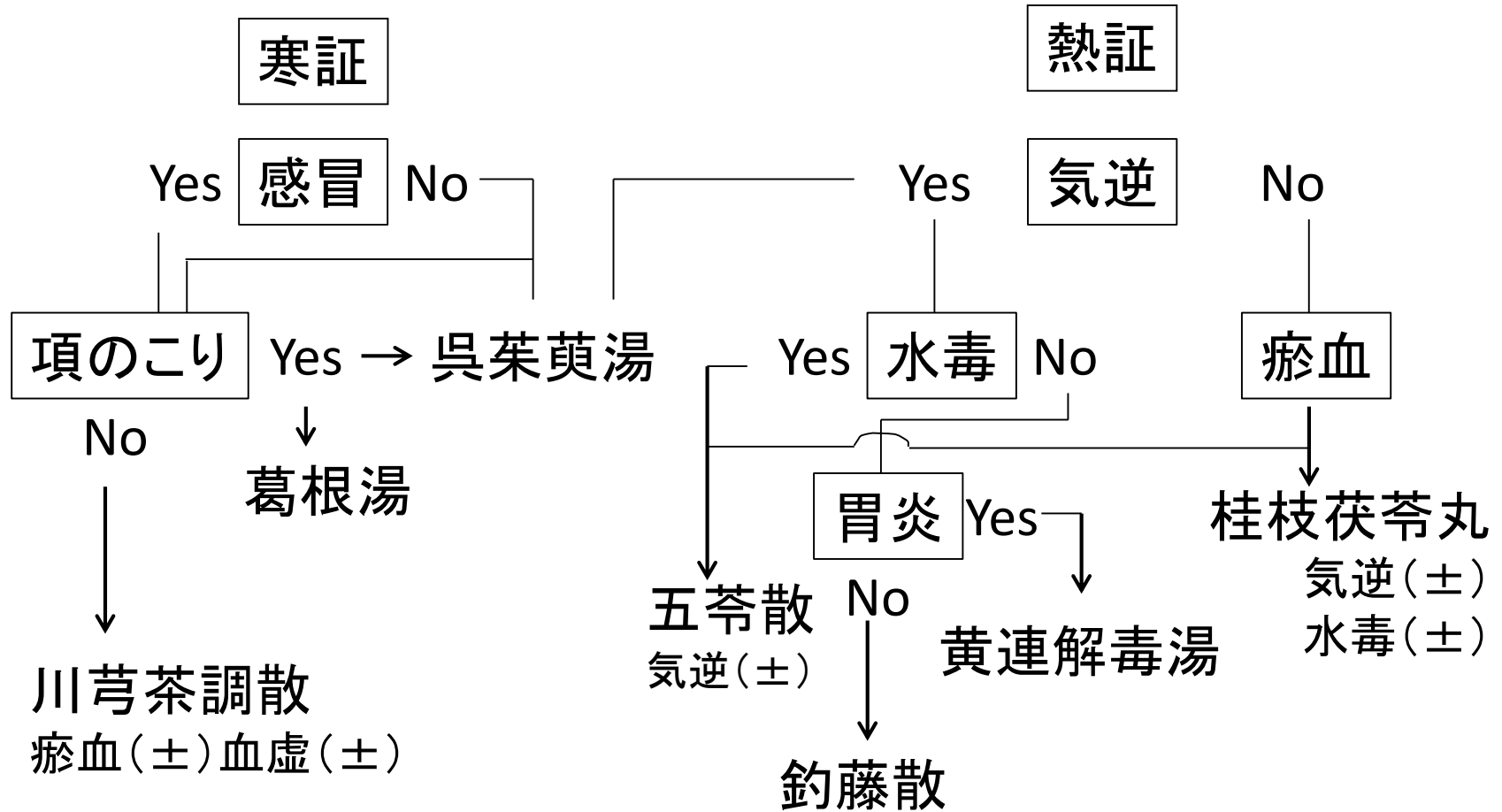
感染による 低酸素血症 月経 低血糖 妊娠 精神的

二日酔い 中耳・口腔・緑内障・副鼻腔炎 脳髄液低下

片頭痛の簡易診断アルゴリズム



頭痛



頭痛の漢方治療

西洋医学的
原因の診断

頭蓋内の器質的疾患 あり

西洋医学治療

なし

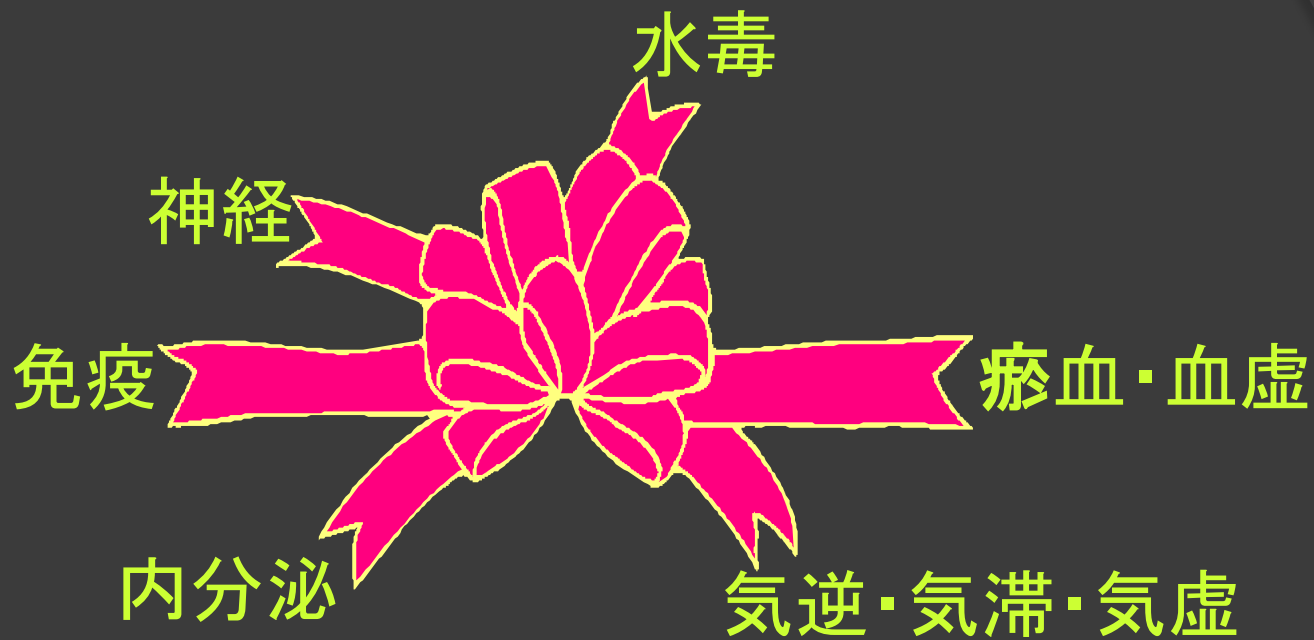
漢方治療

傷寒(急性)		慢性的	
悪寒・悪風		寒証・脾虚	熱証
項のこり	葛根湯 (無汗・項のこり)	呉茱萸湯 (足の冷え)	釣藤散 (のぼせ・眩暈)
	川芎茶調散 (発熱・悪寒)	半夏白朮天麻湯 (眩暈・胃腸虚弱)	黄連解毒湯 (顔面紅潮・イラツキ)
	五苓散 (低気圧頭痛)	加味逍遙散 (更年期障害)	抑肝散 (神経過敏・イラツキ)

寒証と熱証の症候と適応漢方薬

熱証には実熱・虚熱があるが、対応する漢方薬として便宜的にすべて熱証に含めた

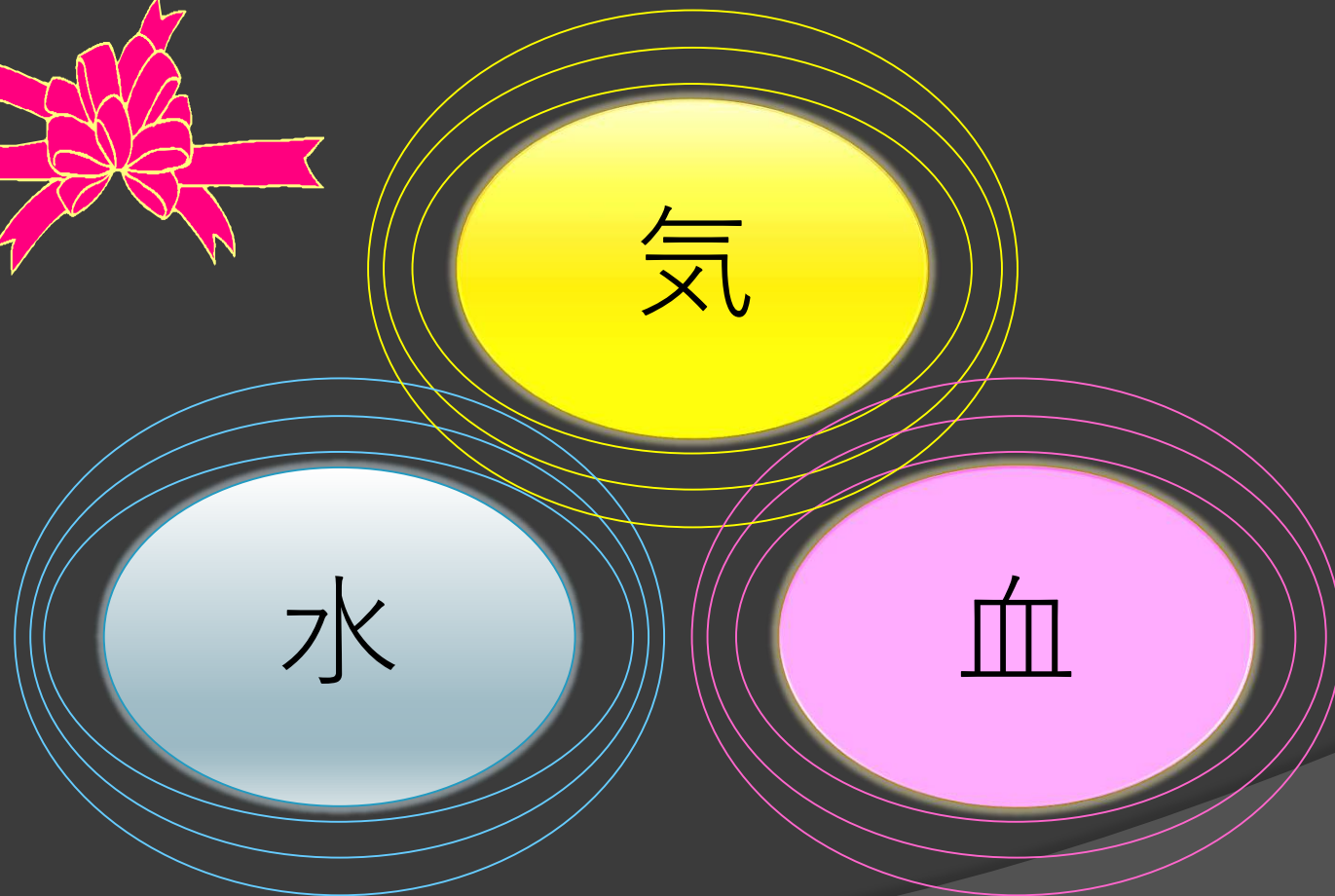
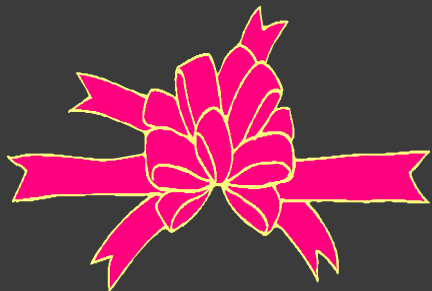
	寒証	熱証
局所	患部の冷感	患部の熱感
全身	寒がり、無汗 冷えると痛む 皮膚の蒼白	暑がり、多汗 全身的に熱感がある 赤ら顔
胃腸	下痢傾向	便秘傾向
舌診	湿潤舌・白舌苔	乾燥舌・黄舌苔
脈診	遅脈	数脈
西洋医学的 病態	副交感神経緊張状態 低体温 痙攣性便秘	交感神経緊張状態 高体温 弛緩性便秘
漢方薬	人参湯 真武湯 当帰四逆加呉茱萸生姜湯	半夏瀉心湯 五苓散 桂枝茯苓丸 黄連解毒湯 白虎加人参湯 大黄牡丹皮湯



恒常性維持機能を

西洋医学は神経・内分泌・免疫の視点で認知
漢方医学的気血水の概念で捉える

機能単位の気血水がバランスして、響きあって
人体の恒常性を維持している



気の異常

気逆



気の上昇

のぼせ
ほてり
イライラ

気うつ



気の滞り

不安感
憂うつ感
心煩

気虚



気の減少

無気力
全身倦怠感

『瘀血』の診断と随伴症状

〔皮膚〕 色素沈着 甲錯 細絡 紫斑 手掌紅斑

口唇・歯肉の暗紫色化

〔舌診〕 暗紫色化 紅点

舌下静脈の怒張

〔腹診〕 臍傍圧痛・抵抗 小腹急結

小腹硬満

〔随伴症状〕

頭痛 不眠 嗜眠 精神不穩 耳鳴 冷え症



『血虚』の診断と随伴症状

〔皮膚〕 色素沈着 枯燥甲錯 細絡
口唇・歯肉の貧血様淡色化

〔舌診〕 淡白色の舌質

〔切診〕 細脈, 弱脈. 腹部軟弱, 臍上悸



〔随伴症状〕 不眠 動悸 眩暈 耳鳴 冷え症

水毒

- ・ 症状：口渇，尿量の増加・減少
鼻汁，喀痰，胃内停水
- ・ 望診：浮腫，関節水腫
- ・ 舌診：齒痕舌
- ・ 腹診：心下振水音
- ・ 代表処方：五苓散



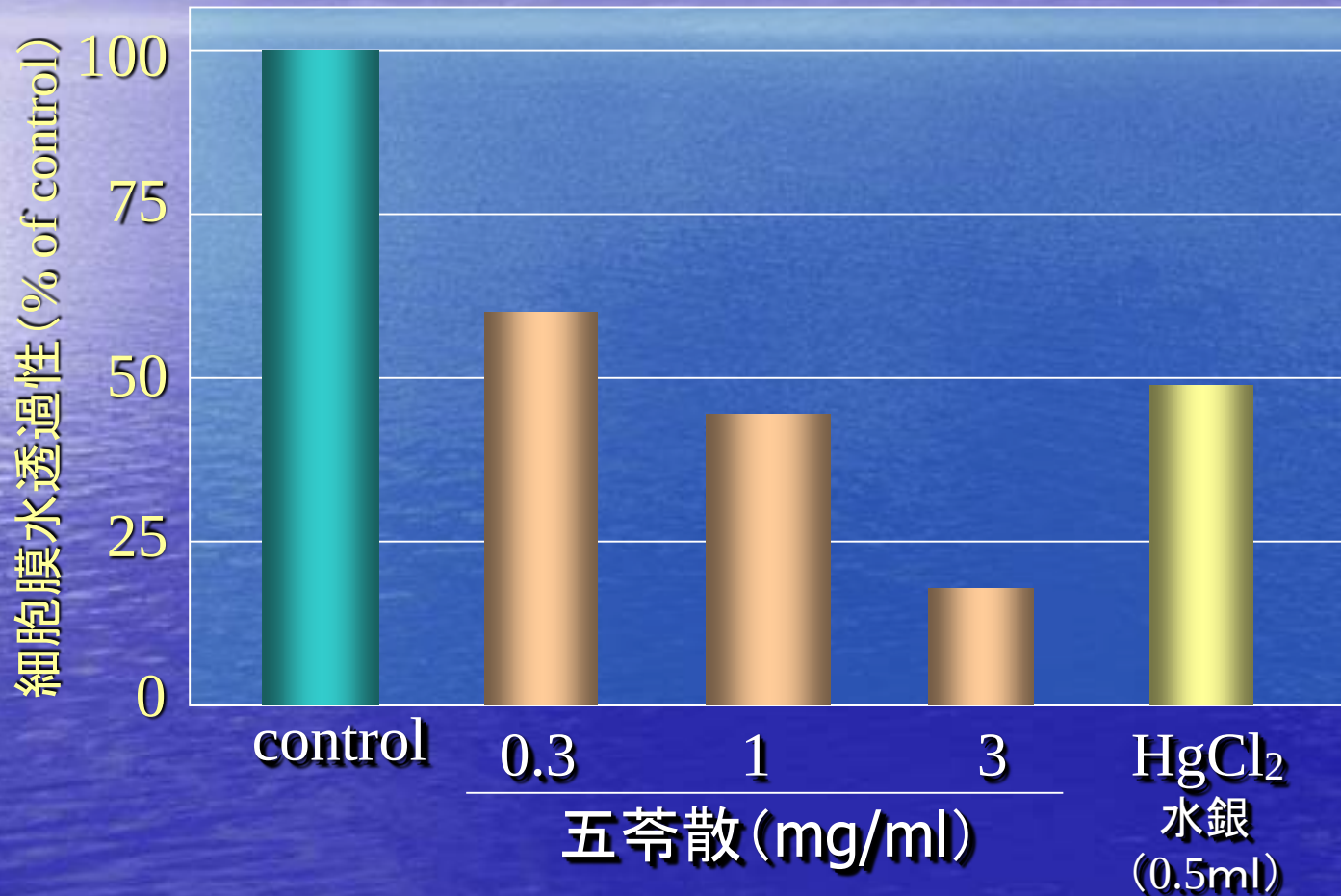
随伴症状：頭痛 悪心 嘔吐 水瀉性下痢
動悸 眩暈 耳鳴 全身倦怠感

齒痕舌



五苓散はAquaporinを介して細胞膜水透過性を抑制する

磯濱洋一郎 漢方医学No5、2005

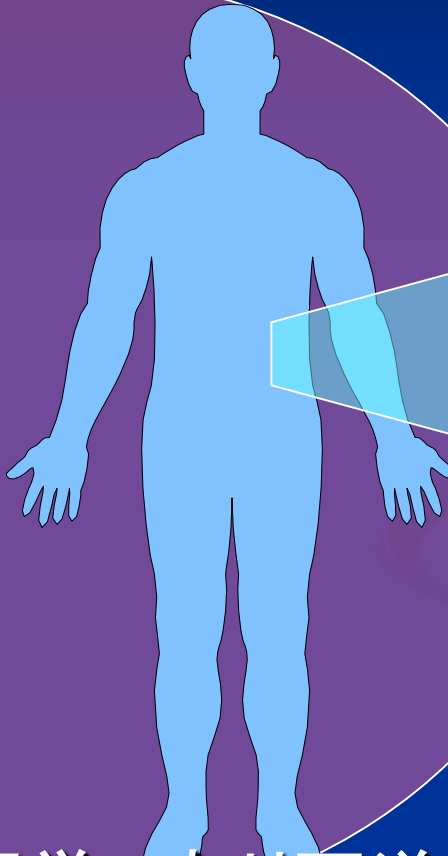




EBM & NBM

漢方医学

Narrative
Based
Medicine



西洋医学

Evidence
Based
Medicine

漢方医学は現場医学であり西洋医学は研究室医学

症例 77歳 女性



〔主訴〕 こむら返り

〔既往歴〕 高血圧

〔現病歴〕 X年7月上旬から家業が忙しく、
一日中立ち仕事。夜はこむら返りで不眠
便秘傾向。市販薬で腹痛

〔身体所見〕 162cm 56Kg 血圧146/88mmHg 67/分
胸腹部に問題なし

症例 77歳 女性

〔漢方所見〕

望診： 乾燥した肌(血虚)

舌診： 燥白苔，裂紋，舌下静脈(+)

問診： 腹部の不快感があり，

こむら返りのほか腹痛・便秘傾向が問題

切診： 沈細脈(血虚) 腹力軟



血虚：末梢動脈の循環不全，肌の乾燥，冷え症

症例 77歳 女性

〔経過〕

X年7月19日初診:

こむら返りの治療を目的に 芍薬甘草湯

1日1回眠前

8月16日 :「このあいだの便秘の薬はよく効いている」と

9月13日 :便秘もこむら返りも改善 廃薬

11月8日 :こむら返りが再発

芍薬甘草湯 再投与

芍薬甘草湯は急性期

筋拘縮・攣縮を伴った急性の疼痛に有効
横紋筋にも平滑筋にも有効



こむら返り

尿管結石

胆石発作

しゃっくり



マメ科の芍薬の根又はstolonを炙ったもの
性味；苦，微寒
薬能；清熱涼血・活血祛瘀

こむら返りの芍薬甘草湯

- ✓ 夜間のこむら返り:
就寝前の芍薬甘草湯2.5g
- ✓ 効果持続:4～6時間
- ✓ 頓用でも有効
効果発現:平均6分
- ✓ 空腹時に服用:
胃粘膜障害はない
- ✓ 留意事項:
甘草が多い→ 高血圧・低K血症



症例 36歳 女性 事務職

〔主訴〕 便秘と腹痛

〔現病歴〕 1月上旬から便秘と腹痛
2月6日に来院

〔身体所見〕 158cm 52Kg
血圧126/78mmHg
脈拍66/分
腸雑音聴取せず



症例 36歳 女性 事務職

〔漢方所見〕

顔面は色白. 齒痕(++), 白舌苔, 湿潤

問診: 腹部が冷えている. 便秘

冷えると腹痛が強くなる

吐き気で食欲がない

切診: 沈遅濇脈. 腹診では全体に冷感高度で軟弱

〔経過〕

大建中湯 を服用3日後: 付き物が落ちたようにすっきり
便秘なし, 腹痛なし, 食欲良好



大建中湯

山椒 辛・大熱；温性刺激剤
(蜀の国で取れたものが蜀椒)

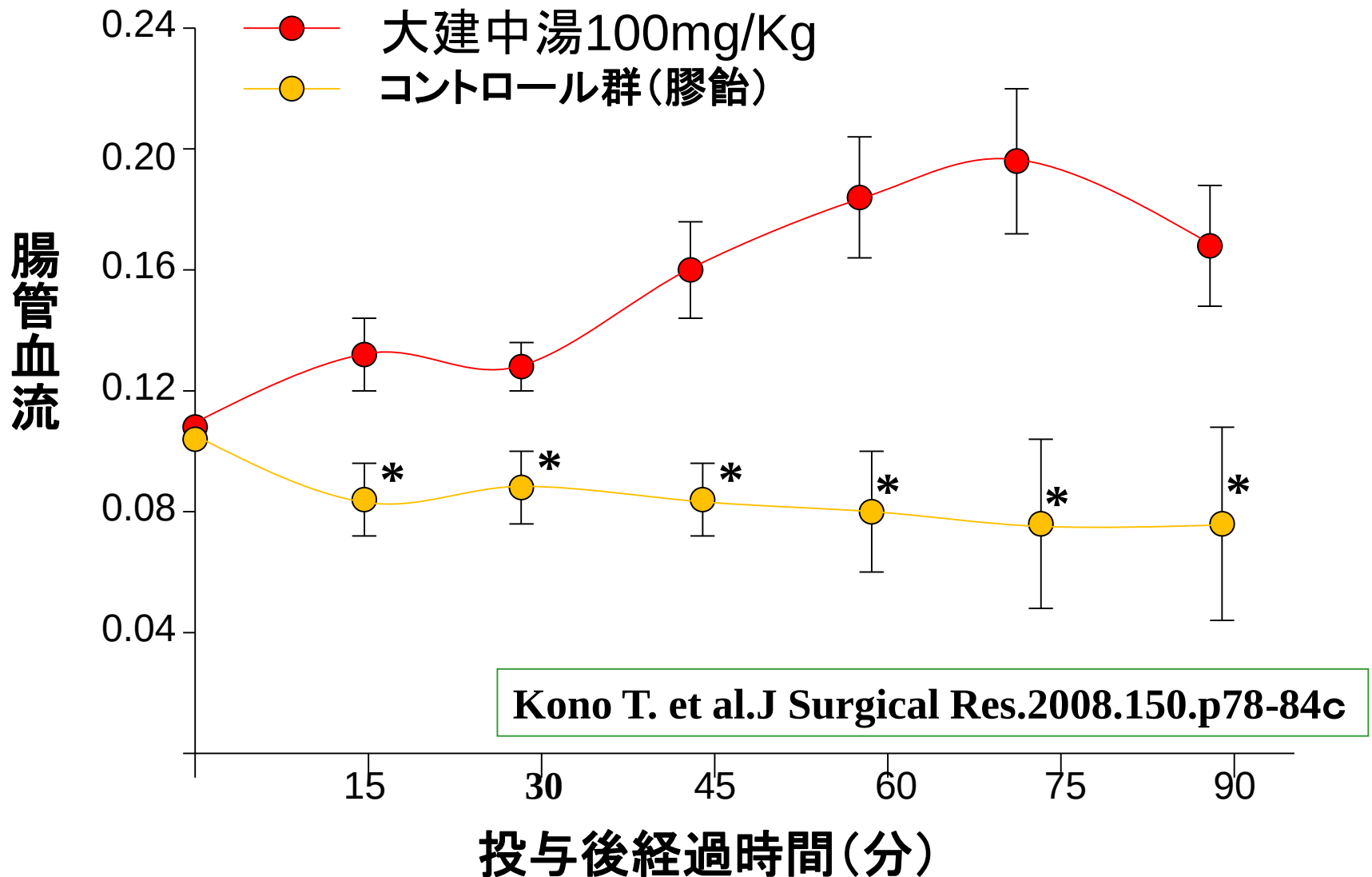
乾姜 大辛・大熱
(生姜を煮沸して乾かしたもの)

人参 甘・微苦・微温
(御種人参を軽く湯通ししたもの)

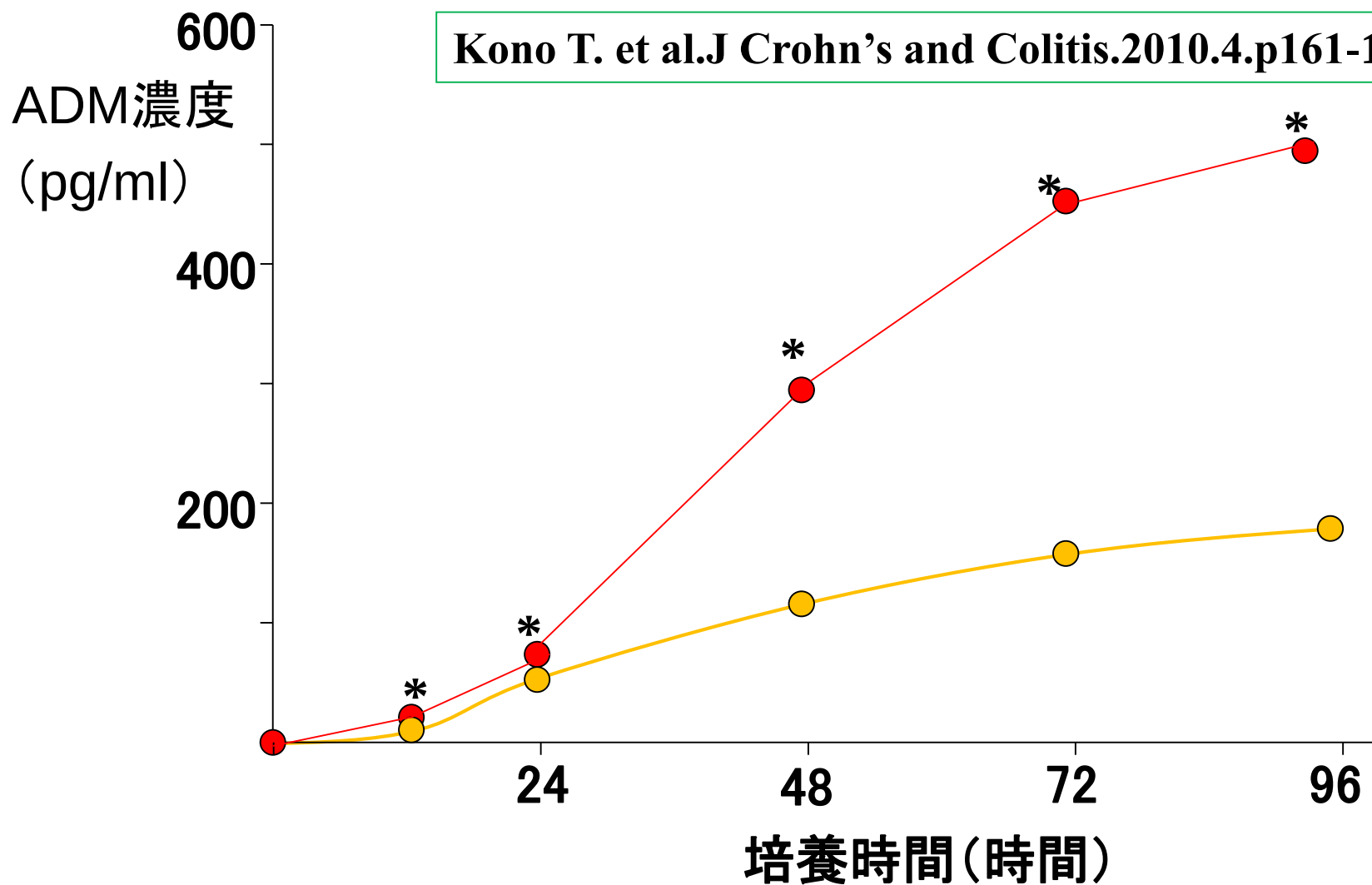
膠飴 甘・微温
小麦に麦芽を加えて糖化させた飴



大建中湯の腸管血流に及ぼす影響



大建中湯のアドレノメデュリン(ADM)遊離作用



大建中湯

〔何をどう治す〕 便秘・下痢・腹痛←胸腹部の冷え
蠕動不穏．腸雑音低下．腹力軟弱

〔西洋薬理学的考察〕

腸管血流を増加させる(アドレノデュリン・CGRP)
プレバイオティクスとして働く(膠飴＝オリゴ糖)

〔漢方所見〕淡白湿潤舌．沈細遅脈．腹壁の寒
蠕動運動の触知

症例 57歳 男性

〔主訴〕 頭痛

〔現病歴〕 昨日の朝から咽頭痛
今朝になり

頭痛, 咳嗽, 鼻汁, 腰痛, 38.8℃の発熱も
出現して来院

〔現症〕 体温38.6℃. 血圧123/68mmHg, 脈拍102/分
咽頭発赤顕著. 胸腹部異常なし

〔検査〕 インフルエンザキット陽性(A型)



症例 57歳 男性

〔漢方所見〕

顔面紅潮，今は咽頭痛は軽減

頭痛，咳嗽，悪寒，ふしぶしの痛み

胃腸系問題なし

〔処方〕 インフルエンザウイルス→タミフル

体の病態＝太陽病期，実証 → 麻黄湯

〔経過〕 発熱は次の日の午後には軽快

さっぱりしたので出勤してよいか，と



麻黄湯

傷寒論

『太陽病、頭痛、発熱、身疼、腰痛、骨節疼痛、悪風し、汗なく喘する者は、麻黄湯之を主る』

悪寒・発熱・頭痛
無汗

〔生薬構成〕 麻黄 杏仁 甘草 桂皮

☆タミフルはウイルスの増殖を止める

☆麻黄湯はインフルエンザによる体の状態を改善

〔臨床応用〕 風邪・インフルエンザの初期

喘息 関節リウマチ

アレルギー性鼻炎

乳児の鼻閉

脈浮緊

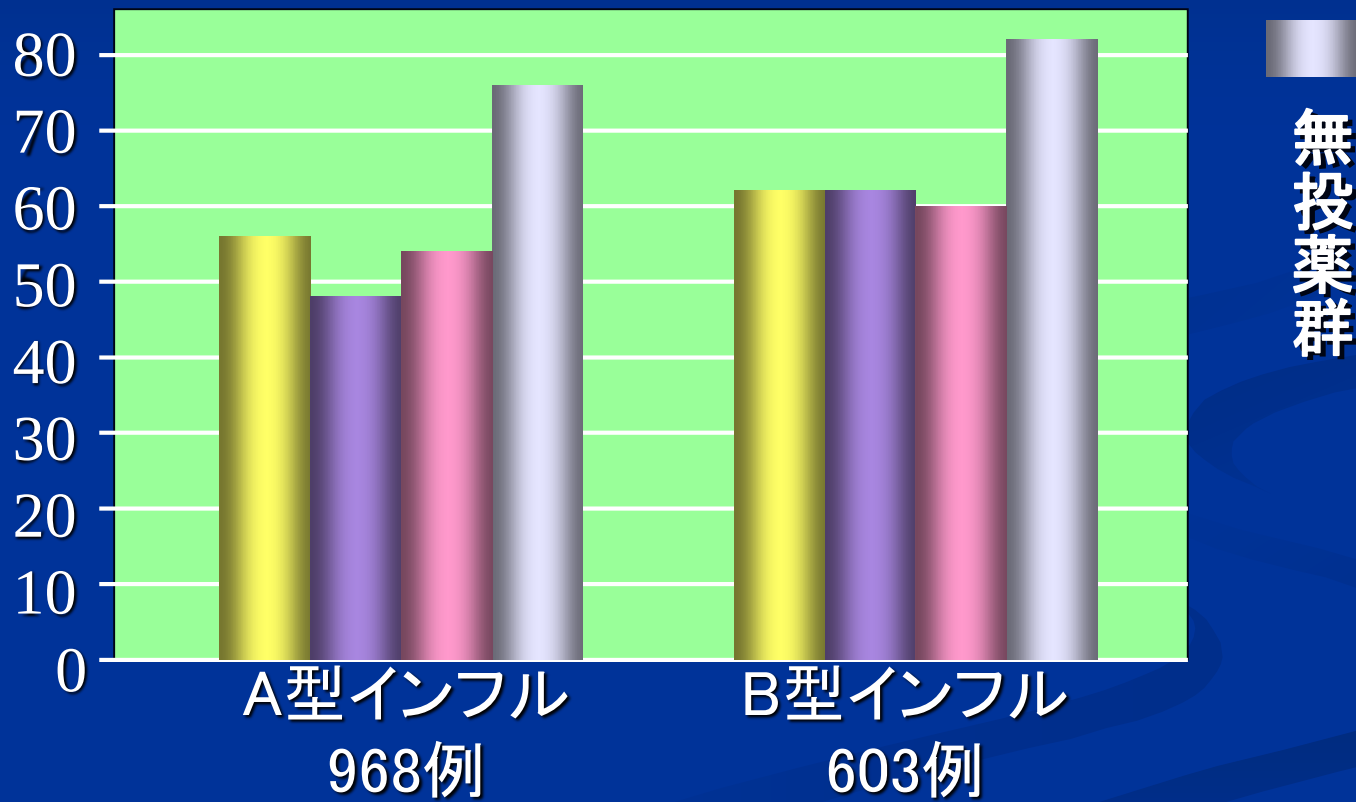
関節痛

腰痛



オセルタミビル(タミフル)、ザナミビル(リレンザ)
麻黄湯 のインフルエンザに対する解熱時間の速度
(日本臨床内科医会)

時間



傷寒論 金匱要略 (傷寒雜病論)

張仲景

和平元年生(AD150)

望診で何年も後の
病氣と死を
言い当てた



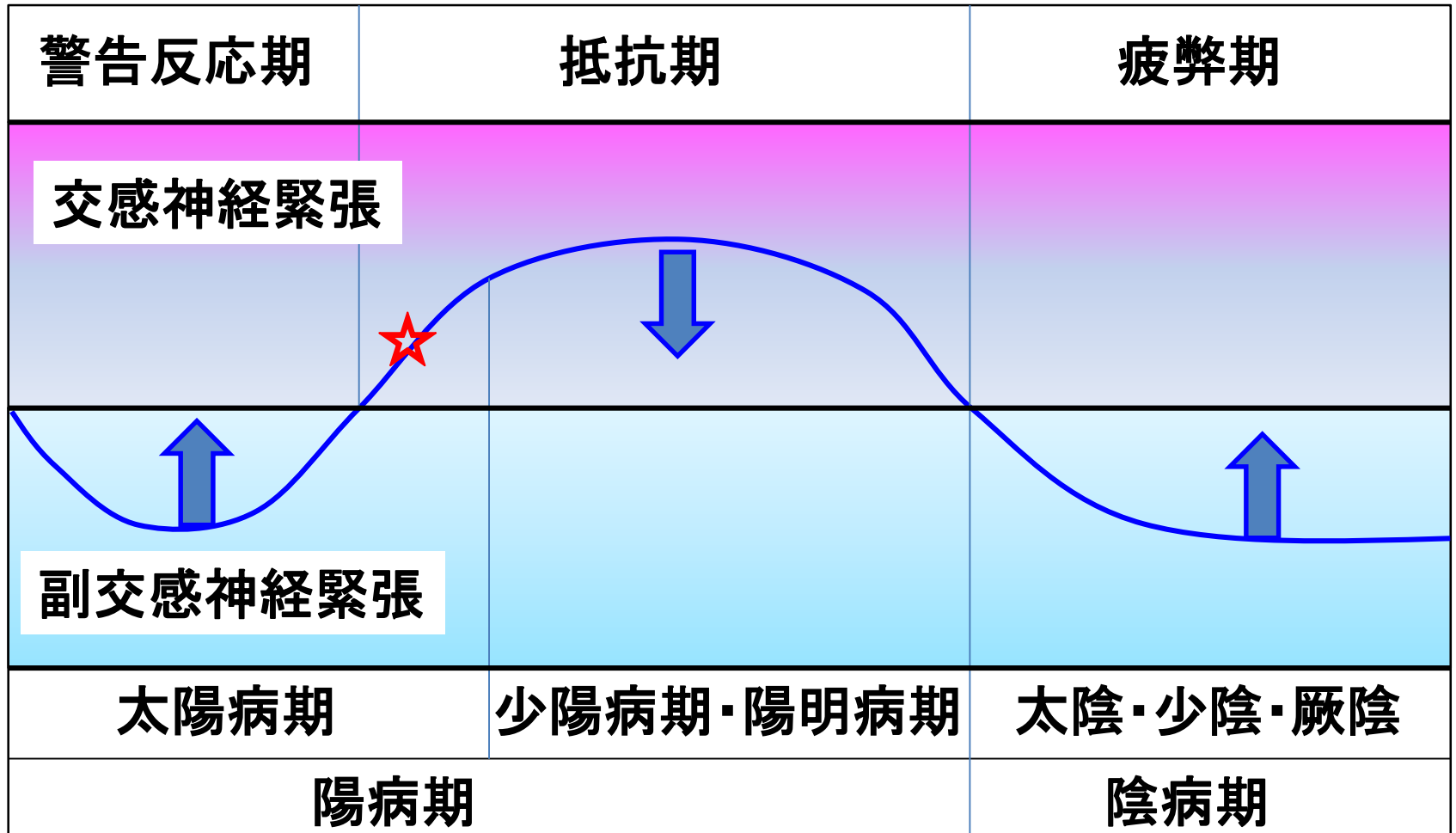
「余の一族は、もともと二百人にあまるほどいたが、
建安元年(AD.196)から10年もたたないのに、
死亡するものがその3分の2に達した。
年若くして死んでゆく人々を救う手段のなかったことを嘆じ、
発奮して『傷寒雜病論』を著した……」

江戸の天才 永富独嘯庵

「凡そ病者百人，治せずして癒ゆる者六十人，
其の余四十人，十人の者は治すといえども必ず
死す。十人の者は治を得て必ず活く。十人の者
は死せず又癒えず。その命，治，不治の間に在
りて権衡し，医人に属する者十人のみ」

現代 「医者が治したのは全疾病の7.8%」

ハンス・セリエのストレス学説と 傷寒論



症例35歳 男性 道路作業

- 〔主訴〕 右背部の水疱性皮疹
- 〔既往歴〕 アトピー性皮膚炎(温清飲or白虎加人参湯)
- 〔現病歴〕 一昨日から右背部のぴりぴりした疼痛が出現
昨日から水疱性皮疹が出現
- 〔身体所見〕 36.8℃ 167cm 72Kg 血圧122/67mmHg 脈拍85/分
- 〔漢方所見〕 皮膚は茶褐色. 体格良好. 黄舌苔
皮疹部の痛み. 胃腸に問題なし
滑数脈. 腹力良好. 冷えなし

症例35歳 男性 道路作業

〔処方〕 帯状疱疹と診断し、バルトレックス処方
同時に水疱性皮疹、実証、疼痛（水毒・熱証）
以上を目標に **越婢加朮湯** 7.5g分3

〔経過〕

初診日



4日後：
痂皮形成



10日後：
色素沈着のみ



越婢加朮湯

〔生薬〕 麻黄・石膏・蒼朮・甘草・大棗・生姜
麻黄・石膏（鎮痛・止汗）
麻黄・蒼朮（浮腫みと腫れを治す）
甘草・大棗・生姜（消化機能を改善させ気力を増す）

〔何を治す〕 水疱を改善させ末梢神経の傷を修復する

〔西洋薬と漢方薬の役割〕

抗ウイルス薬はウイルスの増殖を抑える

漢方薬はウイルスで傷ついた皮膚・神経を修復する

症例 38歳 女性



〔主訴〕 全身の浮腫感

〔生活歴〕 毎晩缶ビール(350ml)4本と
焼酎を飲んでいる

〔現病歴〕 昨晩は生ビール大ジョッキ2杯とワインを1本
友人との女子会があり, 帰宅後に眩暈・嘔気
今朝から全身が浮腫みっぽく頭痛が辛くなった

〔身体所見〕 163cm, 49Kg. 血圧100/68mmHg. 脈拍88/分, 整
胸腹部の聴診他, 異常所見なし

症例 38歳 女性

〔漢方所見〕

望診 : 健康そうな顔色

舌診 : 齒痕舌, 黒舌苔, 舌下静脈(+)

問診 : 悪心・嘔吐・頭痛があり,
口渇・尿量減少. 全身が浮腫みっぽい

切診 : 心下振水音, 浮滑数脈



〔経過〕 水毒の典型

五苓散 7.5g分3. 少しずつ服用を指示
次の日には尿量が増加して浮腫感改善
同時に頭痛, 悪心, 嘔吐が軽快

五苓散

生薬構成：茯苓・猪苓・沢瀉・蒼朮・桂皮

茯苓・猪苓・沢瀉は利水・利尿

蒼朮は燥湿健脾. 桂皮は発汗解表・通陽化気・燥湿
水毒に対して胃腸の過活動状態.

水飲内蓄の処理機能低下に対応

使用目標：口渇，尿量減少，浮腫 頭痛，嘔吐，下痢，発熱

臨床応用：(低気圧)頭痛 感染性胃腸炎 二日酔い

水痘 熱中症 弾撥指 腎炎 硬膜下血腫

花見の会 酒だ！ビールだ！ 二日酔い



二日酔い

西洋医学

脱水素酵素の不足
等張性脱水



頭痛に鎮痛剤
悪心に制吐剤
下痢に止痢剤
脱水に点滴

漢方医学

水毒



頭痛
悪心
下痢
脱水



五苓散



酒は

血脈を通じ、腸胃を厚くし、皮膚を潤し
石気を散らし、憂いを消し、怒を発し、言を述べ
意を暢べる《唐代・陳藏器》



酒は百薬の長



孔子「酒は老いを養う所以であり病を養う所以である」
貝原益軒「酒は少飲で益多し、多飲で損多し」

アルコール分30g/日以下の飲酒は寿命を延ばす

漢方スクエア
(医療関係者向けサイト)

大野修嗣先生 記事リンク集URLのご紹介



<https://www.kampo-s.jp/dr/ohno-s/>

The screenshot shows the profile page of Dr. Ohno Shuichi on the '漢方スクエア' website. The page includes a header with the site logo and navigation links. Below the header, there is a section for Dr. Ohno's profile, featuring a photo and his title as '大野クリニック 院長' (Chief of Ohno Clinic). The page also lists his medical history, academic background, and a list of articles he has written or contributed to. The articles are categorized by date and topic, with links to the full text.

大野先生にこれまでご執筆いただいた記事や取材させていただきました記事を全てまとめたページです。

※漢方スクエアの全ての記事をご覧いただくには
無料の会員登録が必要です。

医療のピラミッド

ご清聴をありがとうございました。

Art

科学的検証に基づく医療

